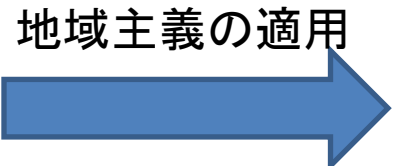
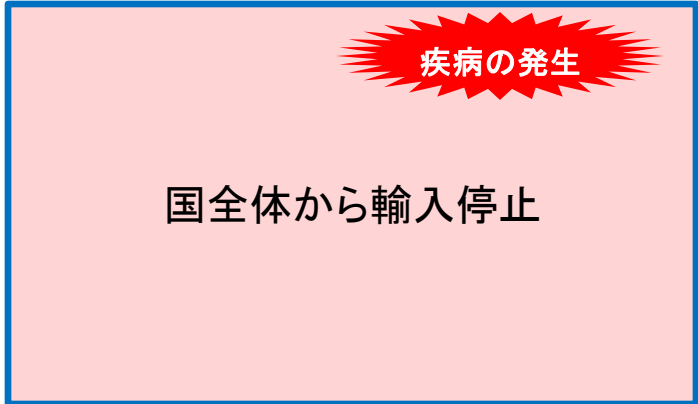
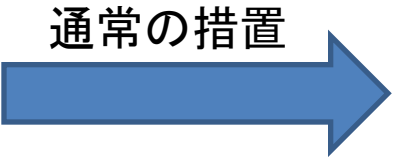


(資料4別添)

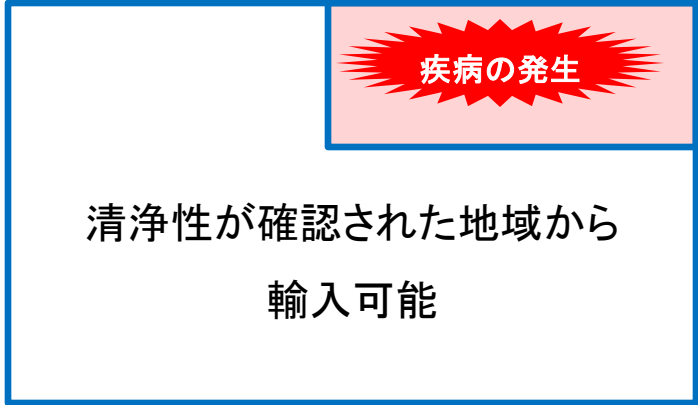
英国での高病原性・低病原性鳥インフルエンザ発生時における  
コンパートメント施設からの種鶏初生ヒナの輸入について

# 地域主義とコンパートメント主義

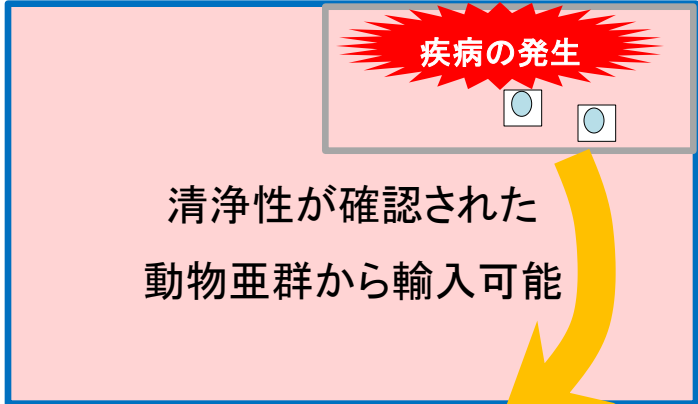
<輸出国>



地域主義とは疾病発生国であっても、清浄(当該疾病の感染の可能性が無い)であると認められる地域からの輸入を認める概念。



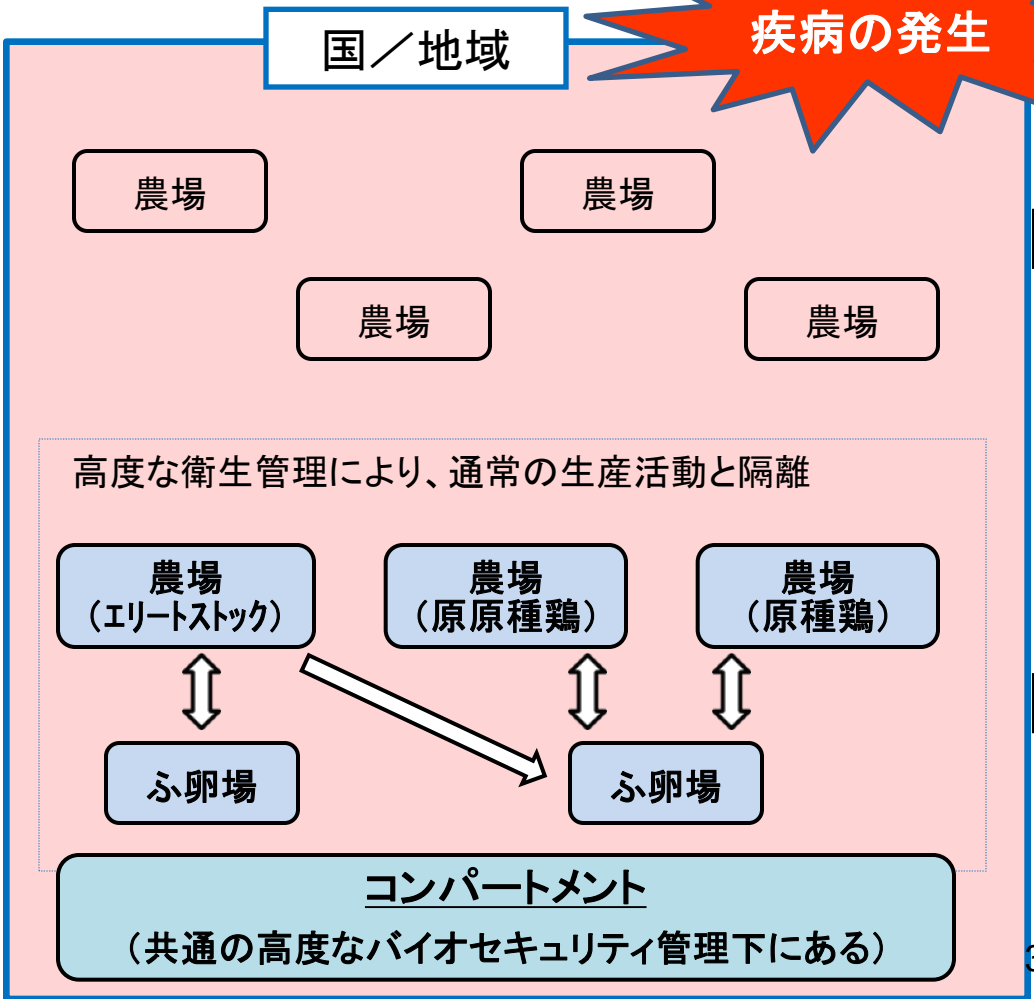
コンパートメント主義とは、疾病発生国/地域にあっても、高度な衛生管理により、清浄であると認められる動物亜群からの輸入を認める概念。 2



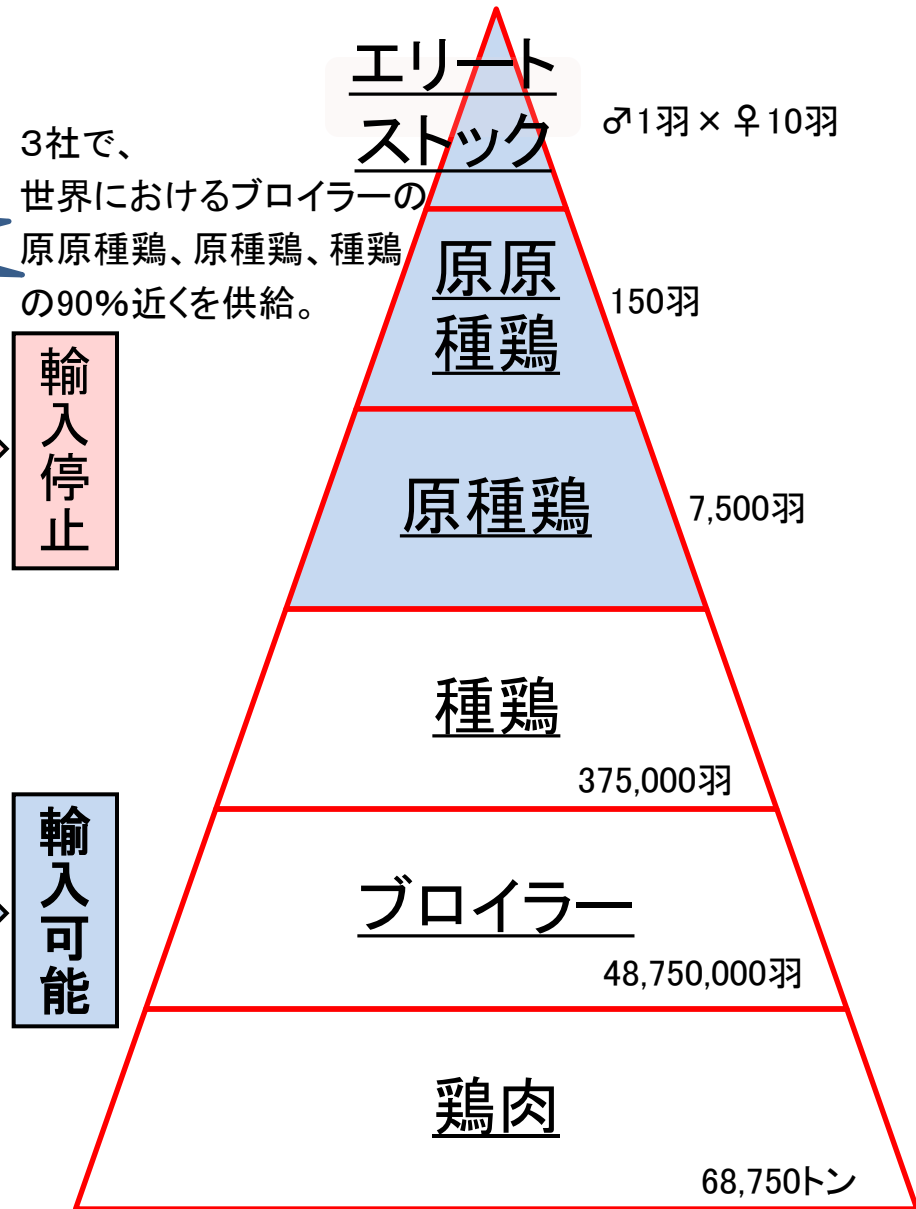
# コンパートメント主義とは

コンパートメント主義とは、疾病発生国／地域であっても、高度な衛生管理により、清浄であると認められる動物亜群からの輸入を認める概念。

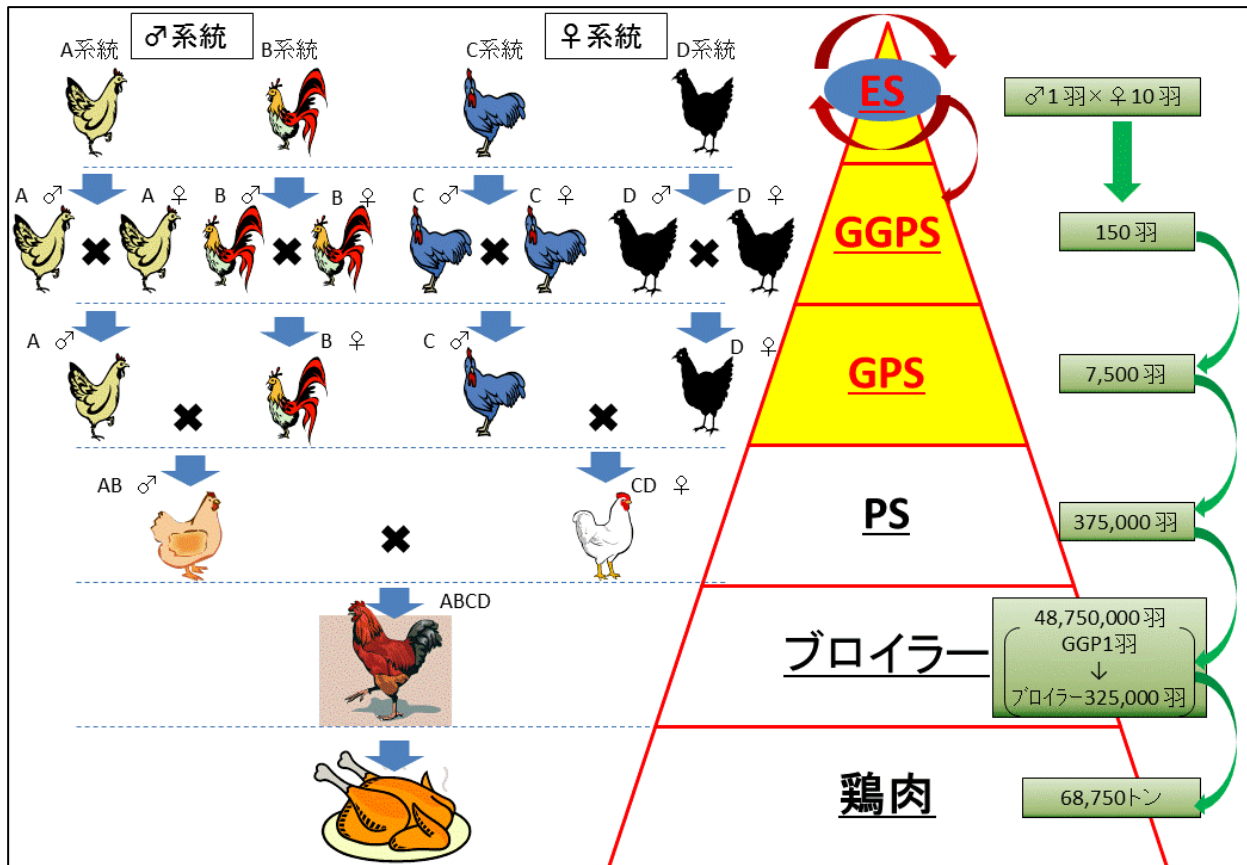
＜コンパートメントの概念図＞



＜ブロイラーの生産構造と育種の流れ＞



(参考2) 家きんの生産構造と育種の流れ(例)



Aviagen, Cobb, Hubbard の 3 社で世界における肉用鶏の原原種鶏 (GGPS)、原種鶏 (GPS)、種鶏 (PS) の 90% 近くを供給しており、英国にはこれら 3 社が所在している。

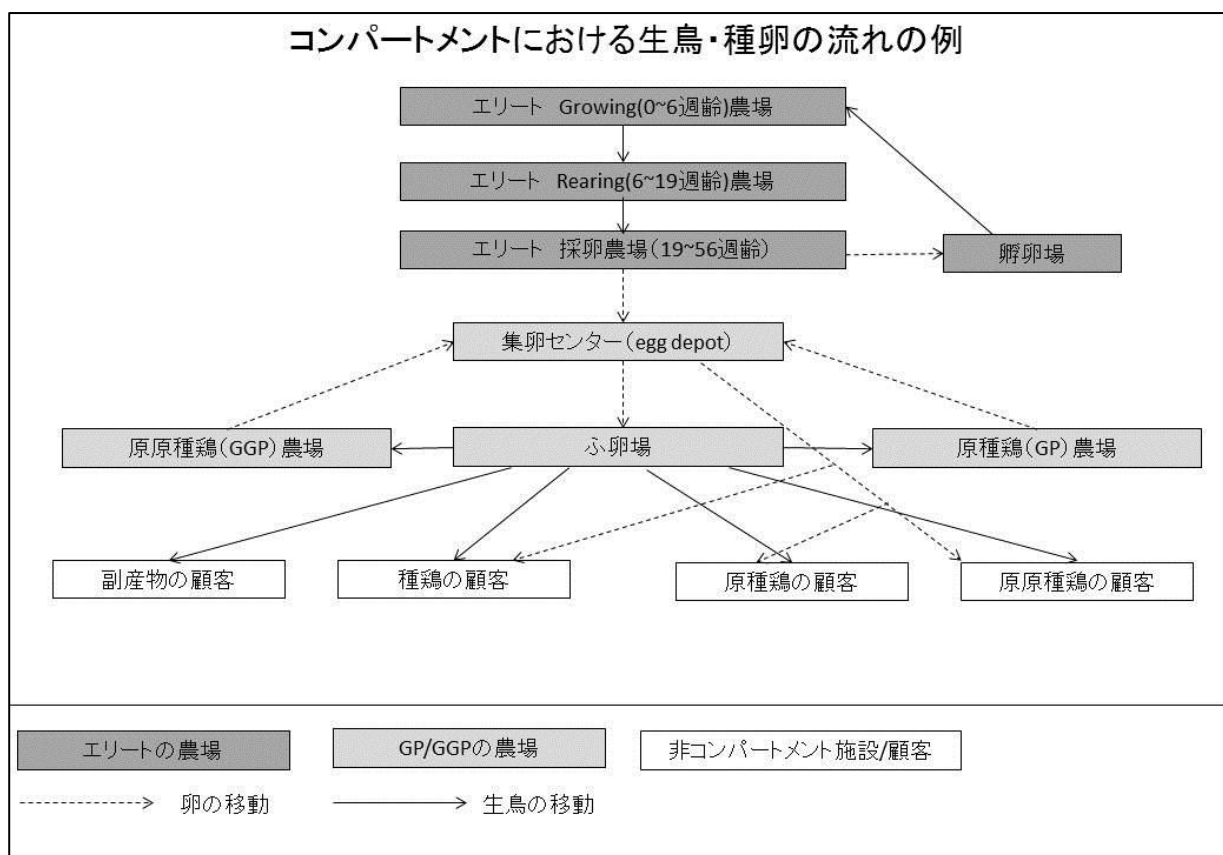
(参考3) 我が国における肉用種鶏初生ヒナの輸入状況(仕出国別)(2012 年)

仕出国	肉用鶏		合計
	原種鶏	種鶏	
英国	181,095 (87%)	125,096 [43%]	306,191 <61%>
フランス	1,412 (1%)	131,187 [45%]	132,599 <26%>
米国	24,991 (12%)	31,177 [11%]	56,168 <11%>
ニュージーランド		6,539 [2%]	6,539 <1%>
合計	207,498 (100%)	293,999 [100%]	501,497 <100%>

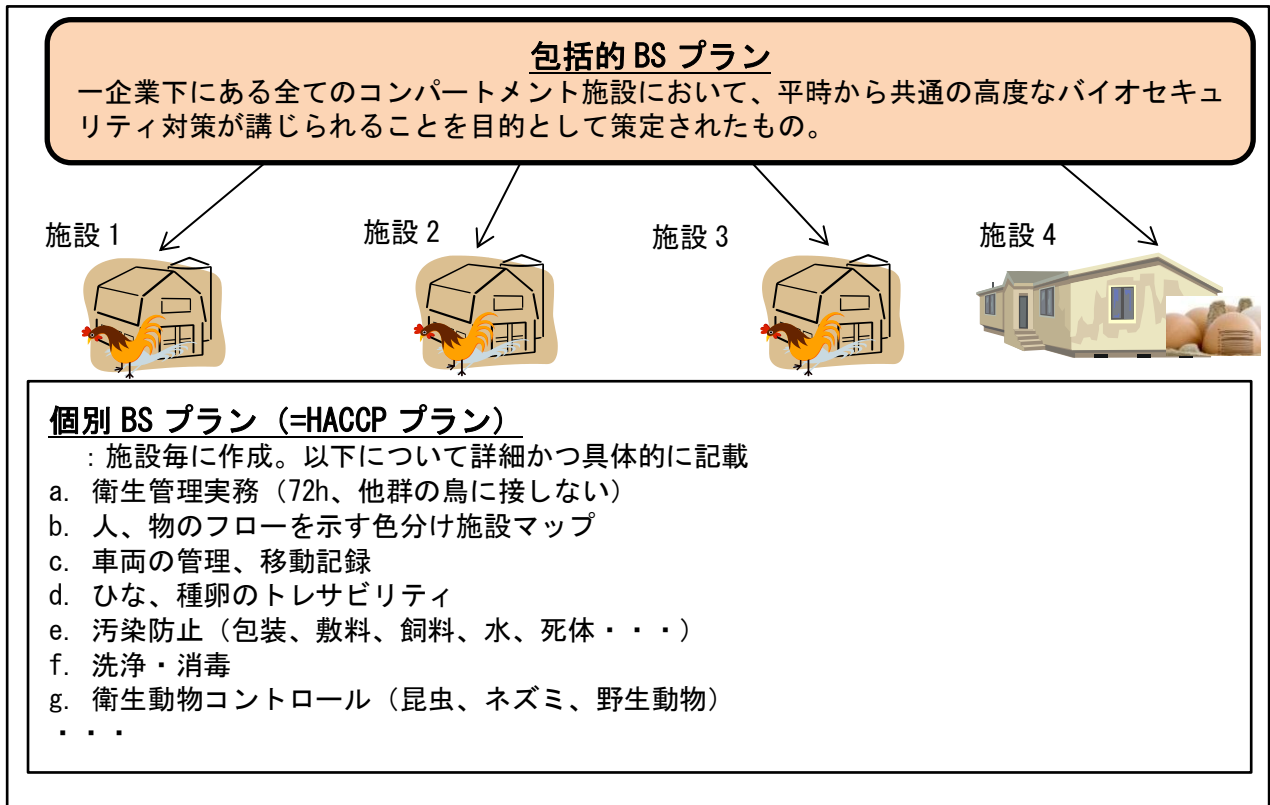
(参考4)

<農場における CCP のリスト>	<孵卵場における CCP のリスト>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設の立地及び物理的外観</li> <li>2. 衛生管理区域への人の入場</li> <li>3. 衛生管理区域内での人の移動</li> <li>4. 衛生管理区域への車両の入場</li> <li>5. 衛生管理区域への種鳥の搬入</li> <li>6. 施設（農場）への飼料の供給</li> <li>7. 施設（農場）への敷料の供給</li> <li>8. 衛生管理区域へのその他物品の搬入</li> <li>9. 鳥の追加又は除去</li> <li>10. 衛生管理区域からの種卵の搬出</li> <li>11. 死鳥や生物学的廃棄物の処分</li> <li>12. 鳥群の定期的監視：検査室検査</li> <li>13. ハイリスク期間：追加的な予防措置</li> <li>14. 生産量・死亡率の監視</li> <li>15. 鳥舎の消毒</li> <li>16. 再利用する機材の消毒</li> <li>17. 齧歯類のコントロール</li> <li>18. 職員訓練と SOP</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設の立地及び物理的外観</li> <li>2. 衛生管理区域への人の入場</li> <li>3. 衛生管理区域への車両の入場</li> <li>4. 衛生管理区域への種卵の搬入</li> <li>5. 包装資材及びその他物品の衛生管理区域への搬入</li> <li>6. 施設からのヒナの搬出</li> <li>7. 死鳥や生物学的廃棄物の処分</li> <li>8. 孵化率及びヒナの生存力の監視</li> <li>9. ハイリスク期間：追加的な予防措置</li> <li>10. 内部のエリア及び固定器具の消毒</li> <li>11. 移動可能な機材の消毒</li> <li>12. 企業の車両の消毒</li> <li>13. 齧歯類のコントロール</li> <li>14. 職員訓練と SOP</li> </ol>

(参考5)



(参考6)



(参考7) 家きん育種企業における流通時のバイオセキュリティ対策の例

